

令和5年度 大阪府医師会 JMAT 研修基本編 実施要領

目的：災害医療体制の確保・充実に向けて、JMAT（日本医師会災害医療チーム）活動への理解を促進し、災害時の支援活動を一体的・組織的に図るため、実習を交えた研修会を開催する

日時：令和6年1月14日(日) 9:00~17:30 集合形式で開催、事前学習あり

会場：大阪府医師会館 4階大会議室

主催：大阪府医師会（大阪府委託・災害医療体制確保充実事業）

対象：会員医療機関の医療従事者（災害医療に関心のある方）

※定員24名（受講の可否は、後日連絡）

その他：①当日はスマートフォンまたはタブレットを利用して実習

（端末及び回線は参加者自身でご用意）

②事前にeラーニングによる学習が必要

③日本医師会生涯教育制度 大阪府医師会認定講座（5.5単位）

④参加費は無料

申込み：右記QRコードより応募（締切12月6日(水)）<https://forms.gle/FEDQGbkxMw1oku3c7>

(申込)



事前学習（講義・確認テスト）

日医 JMAT 研修 e ラーニングシステム “JMAT-e” による事前学習

実地開催（講義・実習）

1. 災害医療概論 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
2. JMAT 総論 大阪府医師会 鎌方 安行
医師会と災害医療
災害対策本部（中央、圏域、地区）
大災害時の患者像（過去の実例）
JMAT とは（災対本部図解、理念・役割、基本方針）
JMAT 派遣の段取り（要請なき JMAT、構成、資器材）
被災地 JMAT の動き（地域防災計画、受援）
支援 JMAT の動き（被災地コーディネート機能）
3. CSCA（TTT） 大阪急性期・総合医療センター 仲 榎 哲
4. 被災地 JMAT の活動 大阪急性期・総合医療センター 仲 榎 哲
5. 情報の共有、クロノロジーの重要性 大阪急性期・総合医療センター 西 健 太
6. 災害時の通信について 大阪急性期・総合医療センター 西 健 太
7. TTT の概念 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
8. トリアージ実習、病院と医療救護所の関係、重症患者のフロー 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
9. 受援（被災地受援を考える） 厚生労働省 DMAT 事務局 松田 宏樹
10. JSPEED 実習、情報の発信：JMAT 活動報告、被災地からの各種情報提供 広島大学大学院医系科学研究科 久保 達彦/ 田治 明宏
11. 支援 JMAT～被災地における医療支援 厚生労働省 DMAT 事務局 松田 宏樹
(1) 発災から JMAT 派遣決定、現地到着まで
(2) 派遣先被災地での活動（ニーズ、医療支援）
(3) 避難所などでの多様な活動（引き継ぎ、撤収を含む）
12. ターニケット装着実習、救急蘇生など 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
13. 災害非常食について